

秋冬どりコスレタスの適品種と栽植密度

[要約] コスレタスの秋どり栽培では、らせん球の発生が少ない品種「コスレタス」、「パリスアイランド」を用いて、栽植密度を10a当たり9,200～11,000株とすることで、収量が向上する。冬どり栽培ではらせん球の発生は少なく、栽植密度を10a当たり9,200～11,000株とすることで収量が向上する。

担当部署	豊前分場・普通作物・野菜研究室			連絡先	0930-23-0163
対象作目	野菜	専門項目	栽培	成果分類	技術改良

[背景・ねらい]

コスレタスは久留米地域で栽培が盛んであるが、らせん球の発生や秋季の不時抽だいの発生により生産が不安定で問題となっている。そこで秋どりおよび冬どりでらせん球の発生が少なく、晩抽性の品種を選定し、最適な栽植密度を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1．秋どり栽培では「コスレタス」、「パリスアイランド」のらせん程度が2以下で低く、茎長も比較的短い。冬どり栽培では全体的にらせん程度は低く、「ロマンス」を除いて問題にはならない(表1)。
- 2．秋どり栽培において「コスレタス」、「パリスアイランド」を用い、栽植密度を10a当たり9,200～11,000株にすると、調製重が重く、らせん程度が低くなって、収量が向上する。茎長は栽植密度を10a当たり13,800株と密植にすると長くなるが、9,200～11,000株では差はない(表2)。
- 3．冬どり栽培においても秋どり栽培と同様に、栽植密度を10a当たり9,200～11,000株にすると、調製重が重くなり、収量が向上する。らせん球の発生程度や茎長に対する栽植密度の影響は小さい(表3)。

[成果の活用面・留意点]

- 1．野菜栽培技術指針に登載し、コスレタス栽培資料として活用できる。
- 2．らせん球の発生株率や程度は収穫適期を過ぎると急激に増加するので、とり遅れにならないよう注意する。
- 3．トンネル被覆時期や管理は他のレタス類に準じて行う。

[具体的データ]

表1 秋どりおよび冬どりにおけるコスレタスの生育(平成12年)

品種	秋どり					冬どり				
	調製重 (g/個)	茎長 (cm)	らせん 程度	球長 (cm)	食味	調製重 (g/個)	茎長 (cm)	らせん 程度	球長 (cm)	食味
コスレタス	301	9.1	1.7	27.3		248	2.5	0.1	31.8	
パリスアイランド	298	8.3	1.2	28.3		259	2.8	0.2	30.7	
ゴールドコス	335	5.6	3.1	28.2		284	3.0	0.5	30.4	
オデッサ	343	5.1	3.7	29.9		254	2.9	0.3	30.9	
ロマンス	314	6.0	6.2	26.5	x	295	3.9	2.6	31.3	
マキシマム	338	17.5	0.4	28.6		236	3.0	0.4	30.7	

注) 1. 秋どり：平成12年8月22日播種(9月11日定植) 2. 冬どり：平成12年10月10日播種(11月8日定植)
 3. 収穫時期：秋どりは平成12年10月17～30日。冬どりは平成13年2月13日～3月7日。
 4. らせん程度は調製物のらせん球の発生程度を無、少、中、甚、極甚の5段階に分類し、それぞれ0、2、4、6、8と重みづけをし、次式により算出した。

$$\text{らせん程度} = (\text{各発生程度別個体数} \times \text{重み}) / \text{調査個体数}$$

 5. 食味は悪い(x)、良い()、大変良い()の3段階で評価した。

表2 栽植密度が秋どりコスレタスの品質および収量に及ぼす影響(平成13年)

品種	調製重	球長	らせん	茎長	収量
10a当たり栽植密度	(g/個)	(cm)	程度	(cm)	(kg/10a)
コスレタス					
13,800株	251a	30.0	3.1b	6.1	1,502a
11,000株	284b	29.3	1.1a	5.3	3,020b
9,200株	295b	29.3	0.3a	5.0	2,717b
パリスアイランド					
13,800株	246	28.7	2.5b	6.0b	2,153
11,000株	257	29.0	0.8a	5.0a	2,734
9,200株	278	28.1	0.3a	4.9a	2,558

注) 1. 播種日：平成13年8月21日播種(9月11日定植) 2. 収穫日：平成13年10月19日
 3. 収量はらせん程度が無～少で、生理障害がなく出荷可能なものについて算出した。
 4. アルファベットの異英文字間にはTukeyの検定により5%レベルで有意差あり。文字がない場合は有意性なし。

表3 栽植密度が冬どりコスレタスの品質および収量に及ぼす影響(平成13年)

品種	調製重	球長	らせん	茎長	収量
10a当たり栽植密度	(g/個)	(cm)	程度	(cm)	(kg/10a)
ゴールドコス					
13,800株	275a	32.8	1.9	4.3	2,524
11,000株	350b	33.2	1.1	4.6	3,444
9,200株	388b	34.3	0.7	4.2	3,464
パリスアイランド					
13,800株	212a	36.0a	0.7	3.9	2,730
11,000株	273b	37.7ab	0.7	4.0	2,784
9,200株	322b	38.5b	0.7	4.0	2,959

注) 1. 播種日：平成13年10月10日播種(11月5日定植) 2. 収穫日：平成14年3月19日
 3. 収量は表2と同様に算出。4. アルファベットの異英文字間にはTukeyの検定により5%レベルで有意差あり。文字がない場合は有意性なし。

[その他]

研究課題名：新規導入品目コスレタスの栽培技術の確立
 予算区分：経常
 研究期間：平成13年度(平成12～14年)
 担当研究者：林田達也、片山貴雄